
1. 2014年3月期第3四半期決算について

2. 2014年3月期業績見通し

3. 最近の取り組み

構造改革テーマ受注の拡大

- **堅調な公共の受注に加え、
民間の構造改革(国内成長力強化・海外展開)関連の受注が拡大**

構造改革のテーマ・案件の例

国内 成長力 強化

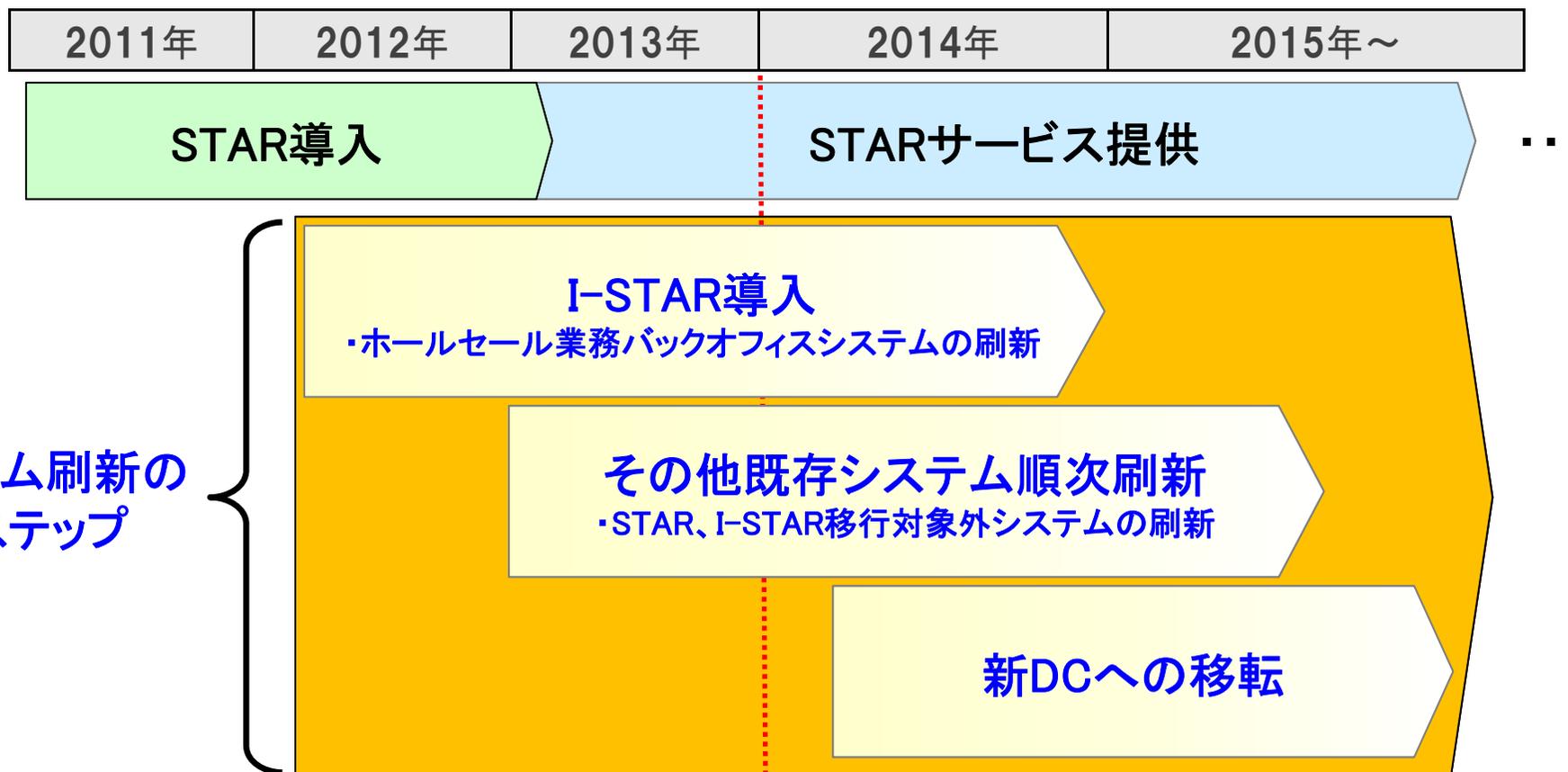
- 営業組織再構築支援(食品製造企業)
- 受付業務効率化支援(保険企業)
- 全社組織体制再構築支援(部品製造企業)
- 店舗戦略構築支援(金融企業)
- エリア勝ち残り戦略策定・実行支援(運輸企業)
- V字回復を目指した中計実行支援(サービス企業)
- 新サービス事業モデル構築支援(メディア企業)

海外展開

- アジア事業展開支援(日系エンジニアリング企業)
- アジア進出戦略策定(日系ヘルスケア企業)
- 海外インフラ事業参入支援(日系商社)
- 国際貢献事業評価(東京都水道局)

野村証券の国内システム刷新プロジェクト

- STAR導入後の国内システム刷新の次のステップを実施中
- I-STAR導入も順調に進展し、サービスの提供を部分的に開始
- 引続き高い水準で案件が継続



NISA対応

- 2014年1月の制度開始に合わせてNISA対応機能をリリースし、**サービスの提供を開始**
- **共同利用型サービスのさらなる拡販、デファクトスタンダード化を図る**

総合証券バックオフィスシステム



利用社数：59社※
約8割がNISA利用

投信窓販口座管理システム



利用社数：108社※
約8割がNISA利用

インターネットバンキング 共同利用型サービス

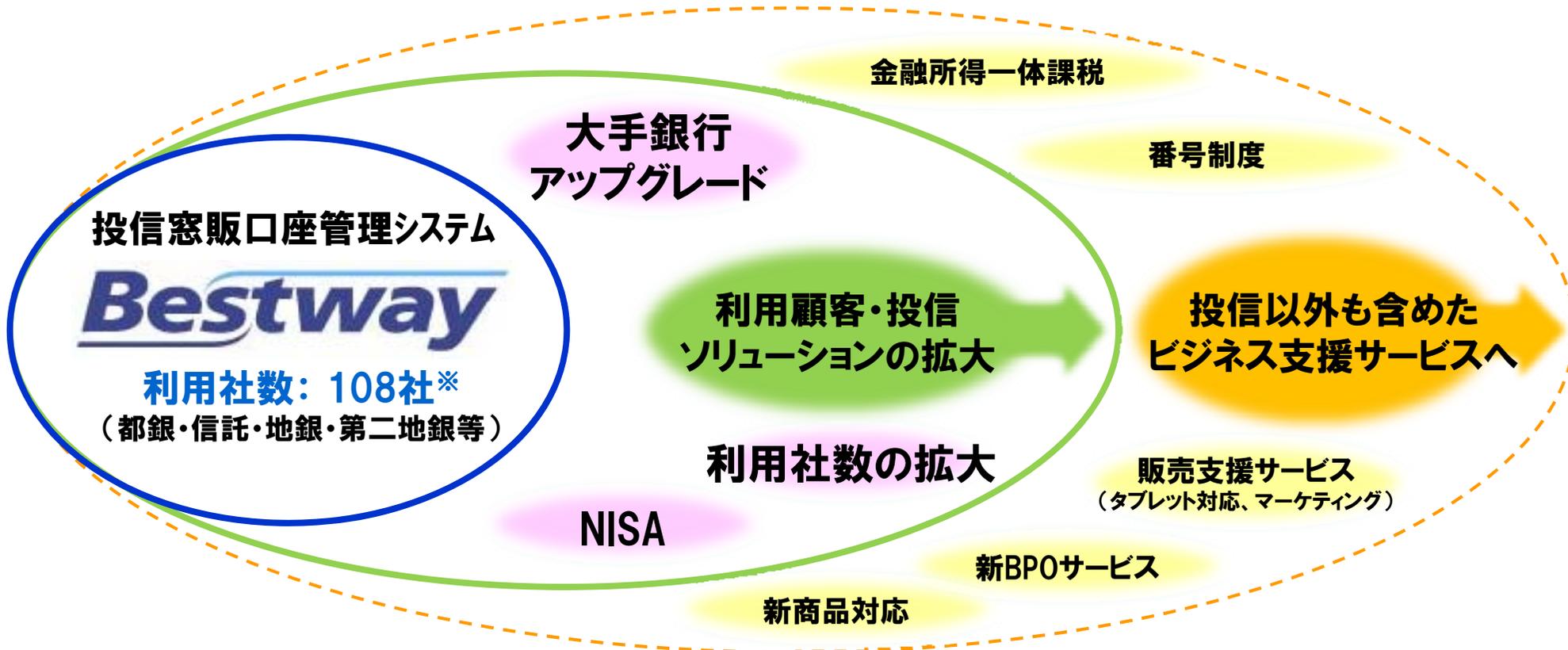


利用社数：9社※
(12社に導入決定)
ほぼ全てNISA利用

※利用社数は2013年12月末時点

Bestway事業の拡大

- **大手銀行などで、Bestwayのアップグレード案件が動き始めた**
- **2014年1月よりNISAが開始。新規のBestway利用顧客も拡大中**
- **今後、投信以外の商品や、ビジネスをトータルで支援するサービスを拡大へ**



SmartBridge Advanceの拡販

➤ 資産運用会社のフロント業務を支援する共同利用型サービス

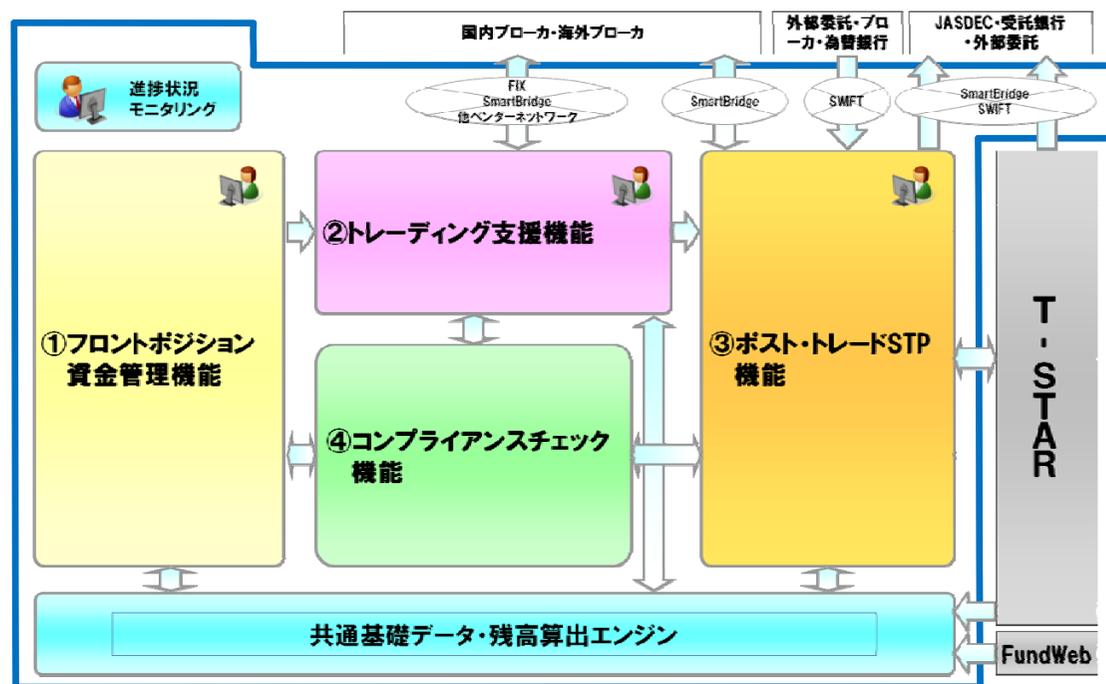
- フロント・バック業務の一元化・効率化を実現
- シェア拡大に向けて、提供サービス群の関係強化と対象資産の拡張を予定

SmartBridge Advance

- ✓ 資産運用会社におけるフロント業務システムのマーケットシェア No.1
- ✓ **20社***で採用が決定
(うち14社で既に稼働中)

※利用社数は2013年12月末時点

2015年度中に30社への
サービス提供を目標



— SmartBridge Advanceでシステム対応を行う範囲

-
- 本資料は、2014年3月期第3四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - 本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
 - 業績予想に関する参考値は当社の現状及び見通しをご理解いただくために目安となる値を表示したものです。なお、新たな情報や何らかの現象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。